
「新約のきよめ」

第18章 奉仕のための力

霊的な働きのための資格は霊的な力

霊的な働きのために、第一のまた不可欠な資格は霊的な力。

人間の能力、賜物は、福音の目的に用いられるなら善いもの。
しかし、もし聖霊により頼む代わりに、賜物それ自体により頼むなら、それは危険であり、わなとなり得る。

だから、教会の働きが弱まる時、外部の援助や設備に頼ってもむだ。
霊的な力だけが、それを成し遂げることができる。

どんな働き人も聖霊の満たしなくしては、可能な奉仕に最大限度備えられていることはできない。

結果の表れは同じではなく、さまざま。
人の個性を十分に発揮させるのが聖霊のバプテスマ。

聖霊の満たしを受けることが、力を受けること

聖霊の力だけが、すべてに打ち勝つ力としてキリスト教必須のもの。

使徒たちはペンテコステのバプテスマによって、働きに備えられた。

これなしには何ものも役に立たない。

しかし、これがあれば、私たちの弱さは全能者と連結して、すべてのことが可能となる。

ペンテコステ以来、聖霊は変わっておられない。

聖霊の賜物は時代によって異なり、教会や時代の必要にしたがって異なる。

しかし聖霊ご自身は変わっておられず、ペンテコステの日とその後に使徒たちが受けたのと同じ力を、私たちも受けることができる。

この方が人格によって私たちに満ちてくださることが、力を受けること。

その力は神だけが与えることができる力

すぐれた思想家、力強い説教者ではなくとも、語ることばに力がある。

神の力としか言いようのない感化力。

ことばでは描写できないが、すべての人が感じるすることができるもの。

—D.L.ムーディーの証し

満たされる前と一言一句ちがわない説教に、満たされた後では神の力が伴い、まったくちがった結果を生んだ。

自分自身の力で百年働くよりも、上からの力で一年働く方が、さらに良い結果を生む。

この力を得るために不可欠な条件は祈りと信仰。

第一に必要なことは、必要を自覚すること。